

病型診断、合併症状態、個々のオーダーメイドの治療法を 糖尿病代謝・内分泌内科に専門医招聘

医療法人 杉村会 杉村病院



院長 乾 誠治



糖尿病代謝・内分泌内科 部長 久木留 大介

心臓血管に続き4月から 脳神経内科も開設

杉村病院は1956(昭和31)年に開院、救急医療・慢性期疾患のケア・糖尿病をはじめとする内科診療を柱に地域医療を展開してきたが、2009(平成21)年からは心臓血管センターを開設し心臓カテーテル治療など高度な専門的医療も実践してきた。

そして今年4月から熊本大学病院脳神経内科特任助教の杉村勇輔医師が同病院の副理事長兼脳神経

内科医長に就任、急性期の脳卒中に対応できる高度先進的脳神経内科を開設した。

熊本大学病院から久木留医師

さらに同じく4月から熊本大学病院糖尿病・代謝・内分泌内科助教の久木留大介医師を招聘した。

「熊本大学病院では、糖尿病や甲状腺疾患などの内分泌疾患を中心とした慢性・急性疾患の医療に携わりながら、県庁や県医師会との連携にて県全体の糖尿病医療対策に従事してきました」と杉村病院の糖尿病代謝・内分泌内科部長に就任した久木留医師。

国内の糖尿病患者数は、その疑いがある者まで含めると2000万人と推定され、70〜80歳代の高齢者では2〜3人に1人の割合で糖尿病を患っているともいわれる。さらに他の生活習慣病である高血圧や脂質異常症を共に患っていることも多く、肥満を基盤としたメタボリックシンドロームを引き起こし、命の

危険につながる心疾患や脳疾患に進行する危険性も高くなってくる。

同病院では、高度な心疾患や脳疾患医療を実践するために開設した循環器内科、脳神経内科と糖尿病代謝・内分泌内科が密に連携したチーム医療体制を充実させ、地域住民の健康寿命の延伸へ貢献していく体制が整ったと言えよう。

糖尿病教室を開催

久木留部長は「同科では、糖尿病全般、内分泌疾患全般の診断、治療を行っています。糖尿病は家族歴、体重歴、病態を把握し、体重の管理など適切なコントロールが大事です。処方箋としてはDPP4阻害薬が一般的ですが最近ではSGLT2阻害薬の有効性のエビデンスが高まっていますね。血糖値を下げることにのみ拘ると低血糖の場合には認知症の発症率が高くなる等のリスクがありますから「質の良い」血糖コントロールが重要です。血糖コントロール不良となった場合にはイ

ンスリン導入、糖尿病教育入院もこなっています」と診療方針を説明した上で、「糖尿病は基本的に根治しない病気です。だから如何に予防するかが重要。それを地域の皆さんにまず理解して頂きたい」と院内で月に4回、無料で「糖尿病教室」を開いている。

高血圧や脂質異常症などの生活習慣病も同科の専門分野で糖尿病との合併症状態の検査・診断で個々の状態にあったオーダーメイドの治療法を提供している。

また、熊本大学病院糖尿病・代謝・内分泌内科医局からの支援もあり、月曜日土曜日に専門外来診療を行えることも大きなアドバンテージと言える。

さらに2022年度には新病院建設構想もあり、心臓から脳へ全身血管病のトータルケアを目指して「さらに、もっと専門的で質の高い医療を目指している。」



▲糖尿病教室で講演する久木留部長

医療法人 杉村会



杉村病院

救急指定

熊本県急性心筋梗塞急性期拠点病院・熊本県脳卒中急性期拠点医療機関
脳卒中24時間365日救急体制スタート

〒860-0811 熊本市中央区本荘3丁目7-18
TEL096-372-3322 FAX096-371-0886
<http://sugimurakai.jp>

診療科目

心臓血管センター／循環器内科、内科、外科、総合診療科、脳神経外科、脳神経内科、整形外科、糖尿病代謝・内分泌内科、消化器外科、代謝内科、消化器内科、呼吸器内科、リハビリテーション科

関連施設

ヒルサイドガーデンクリニック、介護老人保健施設「のぞみ」、居宅介護支援事業所「のぞみ」、ヘルパーステーション「のぞみ」、小規模多機能型居宅介護事業所「島崎山荘」、介護付有料老人ホーム「ヒルサイドガーデン山吹」、小規模多機能型居宅介護事業所「ヒルサイドガーデンひなざく」、サービス付高齢者向け住宅「ヒルサイドガーデン大樹」、居宅介護支援事業所「ヒルサイドガーデン大樹」、ヘルパーステーション「ヒルサイドガーデン大樹」、アイサービス「ヒルサイドガーデン大樹」